令和８年度
全国学力・学習状況調査結果

令和８年９月
砂川市教育委員会

1　調査の目的

全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、砂川市における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することを通して、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に資する。

2　調査の名称：「令和８年度全国学力・学習状況調査」

3　調査実施日及び参加状況

	６年生	調査人数	９年生	調査人数
４月20日（月）			英語３技能、生徒質問調査	77人
23日（木）	国語、算数	89人	国語、数学	74人
27日（月）	児童質問調査	93人		
５月８日（金）			英語（話すこと）	67人

4　調査事項及び手法

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

※令和元年度より、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式に変更された。

小学校（国語：13問、算数：16問）

中学校（国語：15問、数学：16問、英語３技能：22問(注1)、英語「話すこと」(注2)）

（注１）英語３技能は、CBT方式で実施し、公開問題10問（全員が取り組む問題７問、生徒ごとに異なる３問）と非公開問題12問を合わせた22問を解く。

（注２）英語「話すこと」は、公開問題４問（全員が取り組む問題２問、生徒ごとに異なる２問）と非公開問題数問を解く。

(2) 児童・生徒質問調査

・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査（CBT方式）

(3) 学校に対する調査

・学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

5　調査の実施体制

校長を調査責任者として、設置管理者である砂川市教育委員会の指示、指導、助言等に基づき実施する。なお、調査問題の発送、回収、調査結果の採点・集計は、文部科学省及び北海道教育委員会が民間機関に委託して実施する。

6　調査に関しての砂川市教育委員会の基本的な姿勢

砂川市教育委員会は、文部科学省が示す本調査の目的・意義に基づき、定められた方法に従い、砂川学園前期課程・後期課程で実施する。

(1) 学校では、児童生徒の学力・学習状況を把握し、授業改善に向けて調査結果の積極的な活用を図る。

(2) 学力調査の平均正答率についての数値は公表せず、正確な数値が特定されないグラフや言葉による公表とする。

(3) この調査は、本市で実施している標準学力検査や、これまで各学校が教育課程に基づいて実施している各種テストなどと同様に、教育課程の一環として実施するものである。

(4) 文部科学省の実施要領では、都道府県教育委員会が作成する報告書の中で、各市町村の同意を得て、各市町村単位の結果公表を可能としていることから、北海道教育委員会が作成する報告書の中での結果公表について同意することとする。

教科に関する調査結果

1　砂川市全体の平均正答率の示し方

○　平均正答率

全国及び全道の平均正答率と本市全体の平均正答率との差をそれぞれ算出し、以下の区分により示す。

・上回っている　：　＋５ポイント以上
・やや上回っている　：　＋１ポイント以上、＋５ポイント未満
・同程度【上】　：　０ポイントより大きく、＋１ポイント未満
・同程度【下】　：　－１ポイントより大きく、０ポイント未満
・やや下回っている　：　－５ポイントより大きく、－１ポイント以下
・下回っている　：　－５ポイント以下

○　IRTスコア

CBT方式で実施した中学校英語の結果は、500を基準として設定されたIRT（項目反応理論）に基づくスコアで示される。全国及び全道の平均IRTスコアと本市全体の平均IRTスコアとの差をそれぞれ算出し、以下の区分により示す。

・上回っている　：　＋25ポイント以上
・やや上回っている　：　＋５ポイント以上、＋25ポイント未満
・同程度【上】　：　０ポイントより大きく、＋５ポイント未満
・同程度【下】　：　－５ポイントより大きく、０ポイント未満
・やや下回っている　：　－25ポイントより大きく、－５ポイント以下
・下回っている　：　－25ポイント以下

※全国又は全道平均との差が０ポイントの場合は、「同じ」とする。
※各区分は、結果を分かりやすく示すために本市が設定した表示上の目安である。
※IRTスコアの差は、平均正答率の差を示すものではない。

2　前期課程（６年生）の結果

○　国語

・全国の平均正答率（60.9%）をやや下回っている。
・全道の平均正答率（60.0%）をやや下回っている。

○　算数

・全国の平均正答率（56.4%）を下回っている。
・全道の平均正答率（54.0%）を下回っている。

3　後期課程（９年生）の結果

○　国語

・全国の平均正答率（63.9%）をやや下回っている。
・全道の平均正答率（63.0%）をやや下回っている。

○　数学

・全国の平均正答率（57.0%）を下回っている。
・全道の平均正答率（55.0%）を下回っている。

○　英語（４技能）

・全国の平均正答率（50.0%）を下回っている。
・全道の平均正答率（46.7%）をやや下回っている。
・全国の平均IRTスコア（499）を下回っている。
・全道の平均IRTスコア（490）をやや下回っている。

※平均正答率については、全員に共通して出題される公開問題９問の集計値を比較した。